

2026 年 7 月 23 日

丹青社が参画する「池袋エリアプラットフォーム」が 産官学民連携の社会実験「涼感プレイスプロジェクト」を実施 ～猛暑化の街の回遊性を高めるべく、池袋エリアに涼感スポットを期間限定で設置～

商業施設・文化施設などの空間づくりをおこなう株式会社丹青社（本社：東京都港区／代表取締役社長：小林 統／以下、丹青社）が参画する、池袋駅周辺の企業や行政など約 110 団体で構成される「池袋エリアプラットフォーム（理事長 株式会社サンシャインシティ 代表取締役 社長執行役員 脇英美、以下「エリプラ」）」は、年々深刻化する都市災害級の猛暑に対し、夏の街歩きを快適にする産官学民連携の社会実験「涼感プレイスプロジェクト」を 7 月 31 日（金）から 8 月 3 日（月）まで実施します。



涼感プレイスの目印となるロゴ



涼感プレイス スケッチパース

本プロジェクトは、エリプラに参画している団体のうち産官学民の 24 団体による連携事業です。丹青社はプロジェクトリーダーとして企画設計・推進、涼感プレイスの施工、イベントの運営補助を担当。地域創生支援室やこれまでのサステナブルに関する取り組みなど社内の知見を活かしながらプロジェクトを推進いたしました。

プロジェクトでは池袋駅東西の公園や広場など計 7 か所に、木材を活用した組み立て式ユニット「つな木」にミスト、スポットクーラー等を組み合わせたクールスポット「涼感プレイス」を実験的に分散配置。「つな木」を構成する木材には、池袋と鉄道路線でつながる入間川流域の西川材を使用し、一部スポットでは丹青社が共同開発した長野県木曽地域の小径木による合板「NOITA」を取り入れ、地域との連携や環境への気づきを促す仕掛けを施しています。

また、位置情報と連動して街の給水スポットや周辺の飲食店、涼める場所が表示されるデジタルマップを活用し、街の涼み拠点を可視化。猛暑による外出控えが懸念される中、エリプラのネットワークや知見を持ち寄り、猛暑下の回遊性維持の可能性を検証。涼感プレイスを設けることで人流や居心地にどのような変化が生まれるかを学術的・定量的に検証し、得られた実測データや知見は池袋エリアにおける将来的なストリート空間の活用ガイドラインの策定や、将来的な暑熱対策インフラの導入検討に向けて活用します。気候変動への対応が迫られる中、池袋から「誰もが歩きたくなるまち（ウォーカブルなまち）」の実現に向けた、全国の都市モデルケースとなることを目指します。

リリースに関するお問い合わせ先：

株式会社 丹青社

広報室 担当：石綿、寺戸

Tel：03-6455-8115 Mail：pr-staff@tanseisha.co.jpお問い合わせフォーム：<https://www.tanseisha.co.jp/contact/pr>

■プロジェクトの特徴

1. 池袋の地域課題に定める

豊島区は65歳以上の単身世帯の割合が全国トップクラス(※)にあり、熱中症リスクの高い高齢者をはじめとした街全体での暑熱対策は喫緊の大きな地域課題です。この課題をまちづくりのなかで解決する方向性を見出すべく、エリプラ内の「ストリートデザイン部会」に所属する産官学民24団体が互いの知見を活かしながら連携し、池袋各所で複数の実験・調査を並行して実施します。

(※)一人暮らし高齢者の割合/参照：豊島区「豊島区高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」

https://www.city.toshima.lg.jp/documents/1858/zentaiban_dai9kikaigohokenjigyouseikeikaku.pdf

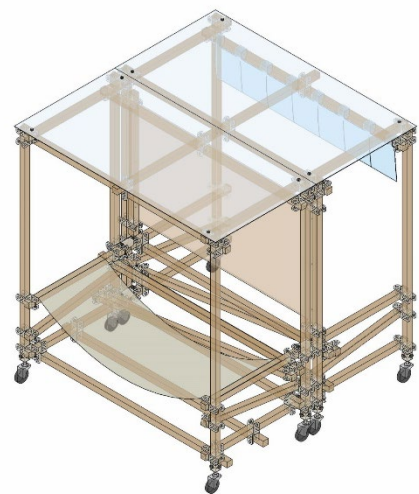
2. 池袋東西7か所に、異なるタイプの「涼感プレイス」を設置

池袋駅の東西それぞれに、さまざまなタイプの「涼感プレイス」を設置します。涼感プレイスのベースとなる什器には、エリプラ会員の(株)日建設計が製造する木質ユニット「つな木」を使用。木材利用により、二酸化炭素の吸収・固定を促すことで、地球環境に配慮したサステナブルな社会実験として展開します。「つな木」にミストやスポットクーラー、グリーン植栽などを組み合わせたユニットとして、街行く人が自由に立ち寄れる避暑スポットとなります。また、設置場所の環境に応じて仕様の異なるタイプを展開し、多様な都市空間における暑熱対策の可能性を検証します。

期間中は位置情報と連動した「涼感マップ」を公開し、設置した涼感プレイスに加え、街の給水スポットや「としま涼みどころ」、周辺の飲食店などを案内し、暑熱回避の行動をサポートします。



設置場所は池袋の公共空間など計7か所に涼感プレイスを設置



涼感プレイスのイメージ

3. 街全体を使う、ウォーカブルな空間ネットワークの構築

7か所の「涼感プレイス」を回遊時の中継地点として分散配置し、実際の街全体を舞台とすることで、リアルな社会実装の可能性を検証します。加えて、位置情報と連動したデジタルの「涼感マップ」で区の屋内避難所「としま涼みどころ」など多様な避暑スポットへ来街者を誘導。リアルとデジタルの両面から、猛暑下でも歩いて回遊できる「ウォーカブルなまちづくり」の実現に挑戦します。

デジタルマップ「池袋ぐるっとマップ」サイト：

https://stroly.com/viewer/1782456234?zoom=2&lng=139.7101812645623&lat=35.72952019154741&utm_campaign=ikebukuro_2026&utm_source=qr&utm_medium=media

リリースに関するお問い合わせ先：

株式会社 丹青社

広報室 担当：石綿、寺戸

Tel：03-6455-8115 Mail：pr-staff@tanseisha.co.jp

お問い合わせフォーム：<https://www.tanseisha.co.jp/contact/pr>

■「涼感プレイスプロジェクト」実施概要

期間：7月31日(金)～8月3日(月)

場所：池袋駅東口・西口に計7か所

内容：池袋駅周辺の公園や広場への涼感プレイスの設置およびデジタルマップの活用による猛暑下における都市の暑熱対策の可能性を検証する

目的：産官学民の連携により、猛暑下における街の回遊性を高め、「ウォーカブルなまちづくり」の実現を目指す

主催：池袋エリアプラットフォーム ストリートデザイン部会

[プロジェクトリーダー](株)丹青社

[プロジェクトメンバー]

(株)サンシャインシティ/(株)NTT アーバンソリューションズ総合研究所/NTT アーバンバリューサポート(株)/国立大学法人お茶の水女子大学/西武造園(株)/高砂熱学工業(株)/東武鉄道(株)/独立行政法人都市再生機構/豊島区/(一社)豊島区建築設計事務所協会/(株)日建設計/(株)乃村工藝社/マーブルデザイン(株)

実施協力：IT tower TOKYO/NTT アーバンバリューサポート(株)/東京芸術劇場/日本生命保険相互会社

物品協力：SPACECOOL 株式会社

調査連携：(公財)日本都市計画学会研究交流分科会A「気候変動時代の包摂的な空間デザイン研究会」

協賛：(株)サンシャインシティ/(株)NTT アーバンソリューションズ総合研究所/東京建物(株)/西武造園(株)/高砂熱学工業(株)/東京海上日動火災保険(株)/東武鉄道(株)/三菱地所(株)/大成建設(株)/東京ガス不動産(株)/ヒューリック(株)/(株)竹中工務店/池袋地域冷暖房(株)/(株)NKB/(株)丹青社/(株)東武百貨店/西池袋熱供給(株)/(株)三菱地所設計

■池袋エリアプラットフォームについて

池袋エリアプラットフォームは、主に池袋エリアの企業・団体・学校・行政機関など約110団体で構成された産官学民一体となってまちづくりを推進する共同体です。池袋エリアの将来像と会員の行動指針を示した「池袋未来ビジョン」を2024年3月に策定し、5月に公開しました。池袋未来ビジョンのまちづくりのコンセプトは、「感動共奏都市～共に創り、共に奏でる～」で、池袋を更に魅力的なまちにするため、当エリア会員が主体となり、同じ志を持つ関係者と共に、「時間を忘れるほど楽しいまち」、「豊かな感性で心躍るまち」、「新しい発見に溢れた創造的なまち」の3つのまちの姿の実現を目指します。



ウェブサイト：<https://ikebukuro-areaplatform.jp/>

「池袋未来ビジョン」詳細：https://sunshinecity.jp/file/official/pdf/ike-areaplat_miraivision.pdf

■ 丹青社について

「こころを動かす空間づくりのプロフェッショナル」として、店舗などの商業空間、博物館などの文化空間、展示会などのイベント空間等、人が行き交うさまざまな社会交流空間づくりの課題解決をおこなっています。調査・企画から、デザイン・設計、制作・施工、デジタル技術を活かした空間演出や運営まで、空間づくりのプロセスを一貫してサポートしています。

社名 : 株式会社丹青社
 所在地 : 〒108-8220 東京都港区港南 1-2-70
 品川シーズンテラス 19F（本社）
 創業 : 1946 年 10 月
 資本金 : 40 億 2,675 万 657 円（2026 年 1 月 31 日現在）
 上場 : 東京証券取引所プライム市場
 （証券コード：9743／業種名：サービス業）
 URL : <https://www.tanseisha.co.jp>



■ 本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社丹青社 広報室 担当:石綿、寺戸 Mail: pr-staff@tanseisha.co.jp Tel: 03-6455-8115

お問い合わせフォーム : <https://www.tanseisha.co.jp/contact/pr>

※ニュースリリースに掲載された内容は発表日現在のものです。

その後予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。